



人権標語を紹介します



子どもたちが考えた人権標語を縦割り班別に紹介します。人権標語は、自分を大切にすること、周りの人や友だちを大切にすること、いじめや差別を許さないことなど、人権を尊重することの大切さについて考えたり、おうちの人と一緒に話し合ったりして作ったものです。子どもたちの視野が、とても広いことに驚かされます。標語は、おまじないの言葉でも願い事でもありません。ぜひ、自分の行動に移して、居心地のよい昼生小学校をみんなでつくっていきましょう。また、ご家庭で話題の一つにして、人権を尊重する家庭づくりや地域づくりの一助にいただければ嬉しく思います。

* の中は、「人権標語に込めた思いを大切にするために、学校生活の中でどんな行動を心がければよいか」について、班で話し合った結果です。

青 班

- ・みんな えがお だいすき ふわふわことば
- ・ともだちと えがおいっぱい おはなししよう
- ・学校で あかるく元気に あそぼう
- ・一言で 相手の想いは かけていく
- ・年れいせいべつ かんけいなく なかよくあそべる昼生小
- ・うそのじょうほうを しんじない ながさない
- ・ひとりひとり さかせる花は ちがう色
- ・救える命 一つでも多く救おう 声だけでもかけよう
- ・人に言った言葉 取り消せない 自分の言葉に責任を
- ・「普通だよ？」 だれかにとっては 苦痛だよ
- ・人権は あなたが守る あなたを守る



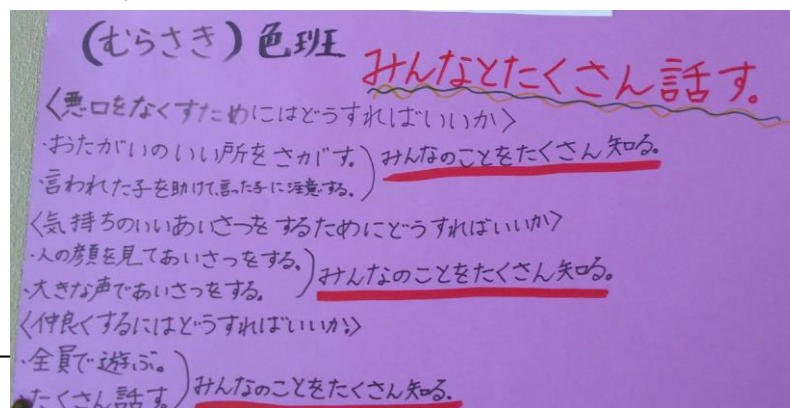
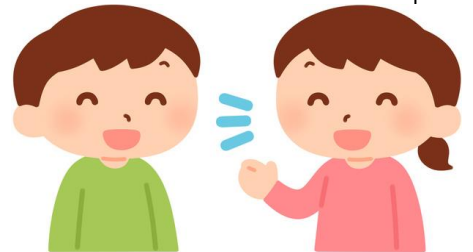
(青) 色班

一人一人 ちがういい所があるから、おたかいをみとめあいやさしい言葉をかける。



紫 班

- ・ポイしちゃおー ちくちくことば ゴミばこへ
- ・ともだちみんなと げんきにあそぼう
- ・楽しいな みんなにっこり うれしいな
- ・ふつうってなんだろう？ それは ちがいをみとめあえること
- ・みんな仲よし 君もぼくも いい気持ち
- ・その言葉 ちゃんと選んで 使ってる？
- ・ふりかえろう だれかをきずつけて いないかな
- ・あいさつをすると みんないい気持ち
- ・悪口は 人の心を きずつける

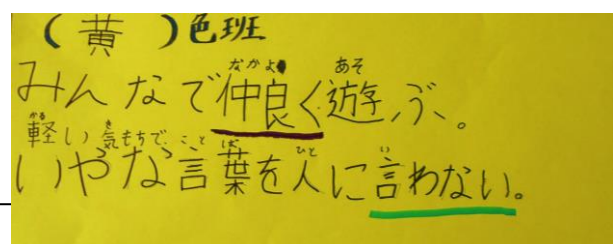


黄 班

- ・みんなとなかよく あそぼう
- ・とんでいけ ぜったいくるな ちくちくことば
- ・楽しく 外で いっしょにあそぼうよ
- ・「あそぼうよ。」 みんなであそぶと たのしいな
- ・しんじない うわさ話は ひろめない
- ・思いやり ゆずり合あい 昼生っ子
- ・人権を 守れば みんな良い気持ち
- ・その一言大丈夫？ 軽い気持ちで 一つの命がうばわれる
- ・思いだしてみても それは本当に いい言葉？
- ・人生を わがままに 生きていく



*わがままとは「ありのまま」の意味



ピンク班

- ・ひろがれ やさしいことば ひろがる みんなのわ
- ・みんなで あそぼう げんきよく
- ・みんなで あそべば 楽しいね
- ・みんな 元気いっぱい 昼生小
- ・昼小から 元気なあいさつ はじめよう
- ・つなげよう 一人一人の 心の輪
- ・悲しんでいる人がいたら 声をかけて 助けよう
- ・ノリ イジリ 見方を変えると イジメかも
- ・きずつけた 心は 元に戻らない
- ・もし自分だったら 見て見ぬふり どう思う
- ・だいじょうぶ 心の勇気を出し 声に出そう

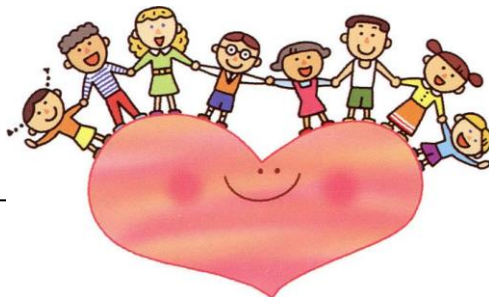


(ピンク)色班
あいて きも かんが
相手の気持ちを考えて
声かけあいさつ 行動する



オレンジ班

- ・だれかがわらうと みんなもわらう えがおのバトンをつなげよう
- ・えがおであそべば みんな なかよし
- ・私の不安 皆の優しさで 皆 安心
- ・悪口は いっちゃだめ ぜったいに
- ・見過ごしも 差別やいじめ 人の心をきずつける
- ・やめようよ いじめや差別 絶対に
- ・しあわせは だれもがつかめる 権利がある
- ・考えよう 言葉を選ぼう もう一度

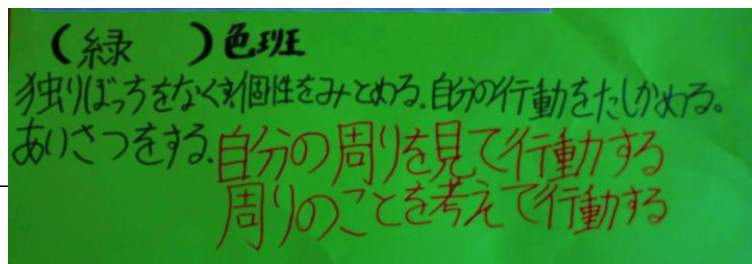


(オレンジ)色班

一人一人のちがいをみとめ
分かりあう

緑 班

- ・だいじだよ なかよくすること みんな えがお
- ・にこにこしていると みんなが 楽しいね
- ・「ごめんね」と言えば もやもや なくなるよ
- ・あかるいあいさつで いっしょに 友だちになる
- ・「ごめんね」の言葉を言えば 私もあなたも もやもやすっきり
- ・考えて その言葉一つ一つが 言葉の剣
- ・もう一度 何がいじめか 考えよう
- ・助け合い みんなでつなぐ 笑顔の輪
- ・いろんな色が集まって みんなそれぞれ自分色



おはぎ作りとお礼の会

今年も、新型コロナウイルス感染予防をしつつ、5年生を中心に稲作体験学習を進めてきました。その最後の取組として12月8日に、収穫したもち米を使っておはぎ作りをしました。

生甘堂の伊藤さんをゲストティーチャーに迎えてご指導いただきました。見ていると簡単そうでしたが、やってみるとなかなか上手にできません。それでも自分で食べる分のおはぎを作ることができました。各教室や職員室には、5年生が、生甘堂さんに作っていただいたおはぎをパック詰めして配りました。給食の時間に、みんなでおいしくいただきました。生甘堂さんには、事前準備、当日の丁寧なご指導等お世話になりました。ありがとうございました。

その日の4限目には、この1年間米作りでお世話になった地域の先生方をお招きし、お礼の会を開きました。これまでの学習成果の発表と合唱を聞いていただきました。最後に、おはぎと赤飯、みんなで書いた色紙をプレゼントしました。地域の先生方には、1年間、様々な場面でご指導、ご協力をいただきありがとうございました。

尚、苗や肥料等は JA さんにお世話になりました。ご厚意に感謝いたします。

